

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 臼杵 章

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,096	5.6	△617	—	△638	—	△639	—
24年12月期第2四半期	4,824	1.0	△598	—	△652	—	△629	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △649百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 △644百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△45.62	—
24年12月期第2四半期	△45.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年12月期第2四半期	12,338		2,172		14.4	
24年12月期	11,441		2,802		20.9	

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,775百万円 24年12月期 2,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	1.50	1.50
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,516	6.9	241	△44.0	192	△53.8	132	△64.0	9.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	14,275,450 株	24年12月期	13,969,402 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	141,416 株	24年12月期	47,308 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	14,012,941 株	24年12月期2Q	13,903,845 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の実績は様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件につきましては、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権における経済政策や日銀の大胆な金融緩和に対する期待から、円安、株高が進み、明るい兆しが見られたものの、賃金の回復にまでは至らず、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間は冬期間においては荒天による欠航の影響により輸送量が減少しておりましたが、観光シーズンとなる春以降は、マイカー利用の個人観光客が増加したこと等により、旅客、航送部門の輸送量はほぼ前年並みで推移しました。貨物部門においては、当第2四半期連結累計期間において、当社は当社を存続会社として日本海内航汽船(株)を吸収合併しました。これに伴い同社の業績が加わったことから、貨物輸送量について大幅に増加しております。

しかしながら、円安による原油の輸入価格高騰に伴い燃料費が増加した影響もあり、結果的には前年同期と比較して若干の減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,096,475千円（前年同期比5.6%増）、営業損失は617,850千円（前年同期は598,947千円の営業損失）、経常損失は638,553千円（前年同期は652,908千円の経常損失）、四半期純損失は639,229千円（前年同期は629,437千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は672,736人（前年同期比0.1%増）、自動車航送台数は乗用車換算で96,591台（前年同期比0.6%減）、貨物輸送トン数は73,456トン（前年同期比35.5%増）となり、旅客、航送部門においてはほぼ前年並みに推移した一方、貨物部門においては当社と日本海内航汽船(株)との合併により輸送量は大幅に増加しました。

当社では原油の輸入価格の高値推移による船舶燃料費の増加に対応するため、燃料油価格変動調整金を4月～6月期においては2ゾーンから3ゾーンに引き上げました（前年4月～6月期は2ゾーン）。営業面においては直江津航路限定「乗用車往復運賃特別割引」を実施するなど、マイカー利用による個人観光客獲得に努めました。一方、費用面においては、原油の輸入価格の上昇に伴い船舶燃料費が前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は3,410,611千円（前年同期比5.4%増）、セグメント損失（営業損失）は543,282千円（前年同期は508,554千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

肥料の輸送量が大幅に減少したものの、佐渡産米、建設資材の輸送が堅調に推移したことにより、売上高は増加しました。

以上の結果、売上高は823,482千円（前年同期比4.5%増）、セグメント損失（営業損失）は12,797千円（前年同期は28,833千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③売店・飲食

当第2四半期連結累計期間は、当セグメントに前連結会計年度の期末日をみなし取得日として連結範囲に含めた、小木観光(株)の業績が加わったことにより売上高は増加しました。一方、当社の両津港ターミナルで行われている耐震改修工事に伴い、同ターミナルで佐渡汽船商事(株)が経営する食堂が休業を余儀なくされたこともあり減益となりました。

以上の結果、売上高は522,842千円（前年同期比6.0%増）、セグメント損失（営業損失）は42,928千円（前年同期は28,740千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

④観光

6月には修学旅行の取扱いが集中したことにより、旅行業の売上が増加しましたが、冬期間の荒天による観光客の減少を取り戻すには至らず、売上高は微減となりました。

以上の結果、売上高は233,753千円（前年同期比1.3%減）、セグメント損失（営業損失）は35,674千円（前年同期は46,691千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤その他

当第2四半期連結累計期間は、不動産賃貸業の両津南埠頭ビル(株)が、前連結会計年度の第4四半期に両津港南埠頭駐車場管理(株)を吸収合併したことにより業績が前年同期を上回っております。

以上の結果、売上高は105,787千円(前年同期比48.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,068千円(前年同期は4,467千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ896,887千円増加し12,338,201千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ261,639千円増加し3,610,392千円となりました。これは、季節的な要因により、受取手形及び売掛金が324,422千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ616,554千円増加し8,705,772千円となりました。これは、有形固定資産が581,920千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,526,970千円増加し10,165,510千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ756,888千円増加し4,548,339千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が86,321千円減少したものの、支払手形及び買掛金が258,139千円、その他の流動負債が624,190千円、それぞれ増加したこと等が主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ770,082千円増加し5,617,171千円となりました。社債が602,000千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ630,083千円減少し2,172,691千円となりました。これは、639,229千円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,865,803	1,832,955
受取手形及び売掛金	600,715	925,137
たな卸資産	605,107	641,876
繰延税金資産	72,223	49,953
その他	209,808	169,440
貸倒引当金	△4,903	△8,969
流動資産合計	3,348,753	3,610,392
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,186,439	1,286,334
建物(純額)	3,394,116	3,422,548
土地	1,917,804	1,909,883
その他(純額)	821,081	1,282,596
有形固定資産合計	7,319,441	7,901,361
無形固定資産		
のれん	48,410	39,987
その他	290,617	313,572
無形固定資産合計	339,027	353,559
投資その他の資産		
投資有価証券	159,096	152,928
長期前払費用	209,674	232,696
繰延税金資産	479	547
その他	61,526	64,706
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	430,750	450,852
固定資産合計	8,089,218	8,705,772
繰延資産		
社債発行費	3,343	22,037
繰延資産合計	3,343	22,037
資産合計	11,441,314	12,338,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,999	614,138
短期借入金	484,000	454,000
1年内返済予定の長期借入金	2,150,316	2,063,995
未払法人税等	13,936	6,569
賞与引当金	37,889	36,136
その他	749,311	1,373,501
流動負債合計	3,791,451	4,548,339
固定負債		
社債	250,000	852,000
長期借入金	3,603,185	3,737,003
退職給付引当金	699,200	696,211
役員退職慰労引当金	35,210	41,246
特別修繕引当金	80,020	128,050
負ののれん	16,095	8,924
資産除去債務	36,010	36,291
その他	127,369	117,446
固定負債合計	4,847,089	5,617,171
負債合計	8,638,540	10,165,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,797	843,135
資本剰余金	643,654	680,992
利益剰余金	976,448	307,949
自己株式	△51,398	△72,171
株主資本合計	2,374,501	1,759,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,795	15,365
その他の包括利益累計額合計	11,795	15,365
新株予約権	29,194	36,695
少数株主持分	387,284	360,726
純資産合計	2,802,774	2,172,691
負債純資産合計	11,441,314	12,338,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,824,134	5,096,475
売上原価	4,930,528	5,203,425
売上総損失(△)	△106,394	△106,950
販売費及び一般管理費	492,553	510,900
営業損失(△)	△598,947	△617,850
営業外収益		
固定資産賃貸料	37,910	38,129
受取利息	225	251
受取配当金	3,618	4,619
その他	32,822	33,365
営業外収益合計	74,575	76,364
営業外費用		
支払利息	96,760	76,150
固定資産賃貸費用	13,563	12,210
その他	18,213	8,707
営業外費用合計	128,536	97,067
経常損失(△)	△652,908	△638,553
特別利益		
固定資産売却益	8,668	13,630
負ののれん発生益	—	8,072
その他	1,423	—
特別利益合計	10,091	21,702
特別損失		
固定資産売却損	486	5,717
固定資産除却損	337	3,027
その他	19	—
特別損失合計	842	8,744
税金等調整前四半期純損失(△)	△643,659	△625,595
法人税、住民税及び事業税	10,778	5,178
法人税等調整額	△9,807	22,330
法人税等合計	971	27,508
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△644,630	△653,103
少数株主損失(△)	△15,193	△13,874
四半期純損失(△)	△629,437	△639,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△644,630	△653,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	3,686
その他の包括利益合計	74	3,686
四半期包括利益	△644,556	△649,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△629,621	△635,659
少数株主に係る四半期包括利益	△14,935	△13,758

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,235,106	787,661	493,386	236,752	4,752,905	71,229	4,824,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,443	161,162	11,927	269,983	450,515	96,420	546,935
計	3,242,549	948,823	505,313	506,735	5,203,420	167,649	5,371,069
セグメント損失(△)	△508,554	△28,833	△28,740	△46,691	△612,818	△4,467	△617,285

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△612,818
「その他」の区分の利益	△4,467
セグメント間取引消去	18,338
四半期連結損益計算書の営業損失	△598,947

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,410,611	823,482	522,842	233,753	4,990,688	105,787	5,096,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,228	168,477	13,233	216,651	401,589	91,501	493,090
計	3,413,839	991,959	536,075	450,404	5,392,277	197,288	5,589,565
セグメント利益又は損失(△)	△543,282	△12,797	△42,928	△35,674	△634,681	1,068	△633,613

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間において、当社と日本海内航汽船株式会社との合併により、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「海運」において788,943千円増加しております。
3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△634,681
「その他」の区分の利益	1,068
セグメント間取引消去	15,763
四半期連結損益計算書の営業損失	△617,850

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成25年4月2日付で、日本海内航汽船株式会社を吸収合併しております。この吸収合併に伴う新株発行により、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ37,337千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が843,135千円、資本準備金が680,992千円となっております。